

⑦ 広報よこしば

# 大人といっしょ バケツもいっしょ

## 花火事故の防止

花火は大人も子供も、家族みんなが楽しめる、夏の夜ならではの風物詩です。しかし、この楽しい花火も原料は火薬——



一歩取り扱いを誤ると、ケガや火災など、思わぬ事故に結びつきます。安全に楽しく花火をするために、次のことに注意しましょう。

**① 注意書きをよく読む**  
火をつけてみなければ、花火がどんなふうになるかわからな——これでは困ります。花火には、それぞれ使い方がありま。取り扱い方を誤ったために、大ケガをしたという例はたくさんあります。火をつける前に、注意書きを読んだり、お店の人に聞いたりして、花火の性質をよくつかんでおきましょう。

**② 安全な場所を選ぶ**  
周囲に木くずや紙くずなど、燃えやすい物のない、人家から離れた広い空地を選びましょう。でも、どんなに広い場所でも、風の強い日は花火をはいけません。火もつきにくいし、風で火花が散り、とても危険です。

**③ 大人といっしょに遊ぶ**  
子供同士で、大人に隠れて花火をしたために、やけどをした

**花火をほぐすのはダメ!**  
花火の中に入っているのは、強力な火薬です。わずかな摩擦や熱で爆発することがあります。昨年も、爆竹の火薬をほぐしてプラスチックケースに詰め込んでいたうちに爆発し、重傷を負ったという事故が起こっています。花火をほぐすのは、絶対にやめましょう。

り、火災を起こしたりという事故が、毎年発生しています。花火を子供だけするのは、危険です。必ず大人といっしょに遊ぶようにしましょう。

**④ 燃えがらは水の中に**  
花火の燃えがらをゴミ箱に投げ入れたために、火災になった例があります。花火をする時は、必ず水の入ったバケツを用意し、燃えつきた花火やマツチは、この中に入れるようにしましょう。

### 普及所コーナー

## 台風対策

7月から10月にかけて、台風が接近、上陸します。この台風で夏野菜は被害を受けますが、一方で野菜の価格が高騰するの事も事実です。台風の被害を最少限に抑え、高価格の時期に少しでも多く出荷できるように、次のことに心がけましょう。

### 防風対策

台風の被害で最も大きいのは、風によるものです。ビニールハウスでは、マイカー線などをして

## 俳壇



津田 若菜  
町長の捧ぐ玉串海開き  
海保 きみ  
甲子園汗と涙の勝利かな  
向後 雅子  
入梅空に三日がかりの干衣かな  
鈴木 南知  
汗の顔するりと撫でて笑みかへす  
戸村 静花  
海開き色白の子の多くあり  
鈴木 草庵  
白葉女遊いてそぞろに梅雨寒し  
若梅あやめ  
梅漬ける嫁にしたがふ塩加減  
藤代 ゆう  
甚平に風はらませて如露の虹  
成田 子  
メスを執る額の汗を拭かせをり



### 被害を防ぎ 所得倍増を

かりと張り、被覆材がたるまなようにします。大型ハウスでは、支柱と支柱の間にすじかいなどを入れましょう。

立性の露地野菜(ナスなど)は、風を受けると株元から倒れて収穫が遅れたり、せつかく実った果実が傷がついたりしてしまいます。ほ場の周囲に防風ネットを張ったり、風よけになる作物(とうもろこし、ソルゴーなど)を栽培したりして、風を防ぐ工夫をしてください。

### 防水対策

台風は雨はつきものです。露地野菜では雨水で作物が流されたり、土壌水分が多過ぎて湿害を起こしたりしますので、明渠を掘り、適正な水分を保つようにします。水田転作栽培では高畦にして排水を図りましょう。

### 病害虫防除

台風が去った後は、風雨により茎葉が傷めつけられ、病害が侵入しやすくなります。薬剤散布をきちんと行い、追肥や葉面散布剤で生育の回復を図ってください。株元から倒れたものは、薬剤散布前に起こし、株元に土寄せをして元の状態に戻してください。